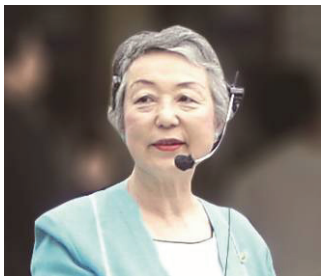
昌子の広場 第166報 小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員
小林昌子
和泉市緑ケ丘 2-13-10
自宅 Tel　0725-54-2626
Fax　020-4669-6920
事務所　Tel(Fax)0725-53-4451
Email　masakokob@yahoo.co.jp
http://masako-hiroba.info/
ホームページもご覧下さい



目 次

・徳洲会への支援金返還請求訴訟について　P1.
・住みよさランキング　P2-3
・昌子の広場　P4

徳洲会への支援金返還請求訴訟について
住みよさランキング

徳洲会への支援金（2.6億円）返還請求住民訴訟 9/18に判決

産　経

徳洲会への支援金に反対

和泉市立病院公設民営化　住民監査請求も

和泉市が、4月1日から公設民営化される市立病院を運営する医療法人徳洲会への「人材確保支援金」として平成26年度当初予算案に約3億5800万円を計上していることについて、一部住民が支出差し止めなどを求めた住民監査請求が2件相次ぎ、反対の旨が…るのは恵州きくなっている。

は13日に開かれる特別委員会で審議定で、各会派の対される。

市が予算案に計上

徳洲会への支援金予算

和泉市議会特別

4月から和泉市立病院の指定管理者となる医療法人「徳洲会」が看護師らスタッフを確保できるように

●徳洲会に2.6億円の支援金

和泉市立病院の指定管理者となった徳洲会に対し、医療従事者確保のために市は2.6億円の支援金を指定管理料として支出しました。この支援金は指定管理者移行時に看護師等の医療従事者が大幅に不足することが見込まれたため、その対策として徳洲会が雇用した医療従事者に対し支度金を支給し、一定期間勤務すればその返還を免除する制度を導入しその財源に当てるためです。

この制度は市から移籍する職員と同様、新たに徳洲会が雇用した職員にも適用し、この支度金に要した財源を全て市が負担したことを問題として２件の住民監査請求が行われました。

●医療従事者確保の責任は？

最大の争点は、指定管理者移行後の市立病院の医療従事者を確保する責任がどこにあるかということです。

□市の主張

指定管理者移行後も市が市民の医療に責任を持たねばならないから、医療従事者を確保し、医療水準を維持する責任は市にある。

□原告の主張

指定管理者移行後は医療水準を維持する責任は指定管理者にある。指定管理者制度は平成１５年の地方自治法改正により、従来の「管理委託制度」に替えて創設されたもので、地方公共団体が指定する法人その他の団体（指定管理者）に公の施設の管理を行わせ、 公の施設の管理全般について指定管理者が権限を行使し、責任を負うものである。 指定管理者の指定により当該施設の管理権限は市から指定管理者へ移り、指定管理者は、自らの判断で主体的に管理業務を行うことになる。一方、市は、施設の設置者及び事務の主体としての責任を果たす立場から指定管理者に対して必要に応じて監督（指示等）を行うに留まる。とされています。

又、指定管理者募集要項等に現状の医療水準を確保することが謳われている。特に市と指定管理者間で交わした基本協定書に指定管理者移行時に必要な医療従事者を指定管理者の責任で確保すると定められている。

●支度金の財源を全額市が負担したことについて

住民訴訟とは

地方自治体の違法な公金の使い方を質すために設けられたもので、一人でも住民監査請求を経ておれば行うことが出来、市民が直接市政に参加出来る手段の一つです。訴訟の利益は全て自治体に帰属し、原告は訴訟費用を負担することになりますが何らの利益はありません。

仮に市が支度金の財源を一定程度負担することが許されたとしても、和泉市と徳洲会との間で取り交わした和泉市立病院の管理運営に関する仕様書には、支度金の財源は市と管理者（徳洲会）が協議して定めるとなっています。

ところがこのような協議を行った形跡は無く、市が全額を負担しました。貴重な市民の財源を使うのに極めて安易な対応で、双方半分ずつ負担するとか、市から移籍する職員については市が、管理者が新たに採用する職員は管理者が負担するとかの方法等を採ることが充分可能であったはずです。

●給与条例主義に反する恐れ

指定管理者に移行する際に、移籍先の給与の減少を保証するため現給保証として退職時に一時金を支給することがまま行われています。和泉市でも同様の検討が行われましたが、法的な問題を払拭できないとして、このような一時金は採用されず、今回の支度金（但し一定年勤務すれば返還を免除）制度の採用となったものですが、この制度でも将来の給付を約して退職することは、あらゆる給与等の支給は条例で定めなければならない給与条例主義に反することで違法な支出です。

●分限免職を採用しなかった事について

地方公務員が職が無くなった時は分限免職ができるとされています（地公法28条第1項第4号）。強制的に退職させる事が出来る制度です。（決して望ましい制度ではありませんが、他の自治体で病院の指定管理者移行時に採用された例があります。再度指定管理者で採用される可能性が高い背景があります）

今回移籍する職員が少なく、このような支度金制度を採用せざるを得なかったわけですが、仮に分限免職を採用すれば、引き続きこの職に就きたいと希望する職員は指定管理者で採用されることが確実であったのですから、移籍職員が少ないと言う問題は解決され、専門職でありながらそれが生かされない職員が誕生した問題も解決します。市長は組合対応を考慮し分限免職制度を採用できなかったものと思われます。

●徳洲会の言いなり

今回の新病院計画に際し、徳洲会が当初の規模を拡大した計画を提案し、市はそれにそって規模を拡大した新病院を計画し、市民に公表するとともに議会で承認を得ました。ところが突如徳洲会は規模拡大は白紙に戻して欲しいとの申し入れがあり、既に計画案は確定し、市民にパブリクコメントを求め、それを前提に補正予算の議決を行っている事から市は難色を示しましたが、結局徳洲会からの要請を受け入れざるを得ず、病院計画を元に戻し、再度パブリックコメントを求めました。

計画見直しを求めた背景は、建設費の高騰、福祉施設の併設が困難となった等言われていますが、必ずしも明らかではなく、徳洲会の内部事情も絡んでいるものと思います。（この件は別の住民訴訟で争われています）

このように市立病院に関しては徳洲会の言いなりになっている感を強く受けます。20年間という指定管理期間を考えると前途多難です。

昌子の日記＆予定

8/2 緑ケ丘夏祭り
8/3 和泉中央駅会報配布、子ども議会傍聴
8/4 和泉中央駅会報配布、横山小、南松尾小、青葉はつが野小、北松尾小訪問
8/5 光明池駅会報配布、光明台南小、光明台北小訪問
8/6 ソロプチミスト大阪-南陵理事会
8/7 和泉中央駅会報配布
8/11 庁舎整備についての意見交換会
8/15 「平和になって 70 年」寺村安雄ハーモニカチャリティーコンサート
8/17 光明池駅会報配布
8/18 和泉府中駅会報配布
8/19 信太山駅会報配布、ごみ問題学習会
8/21 和泉中央駅会報配布
8/22 憲法カフェ
8/24 和泉中央駅会報配布
8/25 和泉中央駅会報配布
8/27 北信太駅会報配布、都市計画マスタープラン策定委員会傍聴
8/28 和泉府中駅会報配布、議会改革検討会議傍聴
8/29 子ども夢コンサート

＜事務所行事＞いずれも小林昌子事務所で
連絡先　自宅 TEL 0725-54-2626
事務所 TEL 0725－53－4451
（事務所 緑ケ丘1－3－15）

万葉講座（場所　緑ケ丘自治会館にて）
- 講師　大高勇さん（全国万葉協会会員）
- 会費　年会費 3000 円　14-16 時
- 129 回（9/12 土）男も女も人生いろいろ
- 130 回（10/10 土）声に出して読みたい万葉秀歌と次月バス散策の事前説明
- 131 回（11/8 日）バス散策　奈良山山麓を縫う万葉の道を訪ねて

パソコン講座
- 第 2、第 4 週の火曜 10 時～12 時、同じく　木曜 14 時～16 時

市政相談会（事前にご連絡下さい）
- 第2、4水曜日　20:00～21:30

和泉市　住みよさランキング大阪府内で27位と低迷

昨年とは変わらず（東洋経済新報社調べから）

順位	前年順位	市名（都道府県名）	総合評価 偏差値	安心度	利便度	快適度	富裕度	住居水準
1	1	印西（千葉）	59.38	666	5	29	45	171
2	4	長久手（愛知）	58.05	214	40	1	18	714
3	9	能美（石川）	57.85	30	412	9	229	70
4	10	名取（宮城）	57.76	446	3	2	238	408
5	2	坂井（福井）	57.75	35	95	96	419	53
6	3	野々市（石川）	57.71	3	1	10	248	755
7	6	鯖江（福井）	57.17	55	95	96	419	53
8	13	砺波（富山）	57.06	197	77	204	404	21
9	7	かほく（石川）	57.00	158	21	84	559	35
10	5	守谷（茨城）	56.80	670	13	57	35	404
31	26	箕面市	54.80	628	42	21	31	672
51	61	大阪狭山市	53.93	290	42	256	203	493
61	77	吹田市	53.64	613	42	30	27	753
107	108	摂津市	52.88	455	42	173	59	734
121	156	豊中市	52.74	562	42	139	42	744
137	154	高石市	52.53	451	42	522	95	612
149	154	茨木市	52.39	518	42	203	75	724
163	184	泉佐野市	52.22	644	26	573	72	595
203	188	堺市	51.66	543	42	209	142	712
204	177	池田市	51.65	687	42	229	69	715
206	200	交野市	51.64	704	42	417	251	429
218	253	大阪市	51.55	539	42	79	49	790
226	211	河内長野市	51.47	731	42	529	340	255
240	222	枚方市	51.30	625	42	377	194	630
300	327	四條畷市	50.77	411	42	458	379	576
331	349	八尾市	50.51	610	42	400	223	674
353	328	藤井寺市	50.34	639	42	389	318	616
411	389	東大阪市	49.75	623	42	349	224	740
429	478	柏原市	49.62	593	42	590	345	624
430	445	羽曳野市	49.62	668	42	613	420	473
433	401	寝屋川市	49.58	568	42	404	369	681
446	428	守口市	49.49	630	42	356	243	742
458	501	富田林市	49.37	730	42	569	310	600
513	496	松原市	48.96	646	42	544	432	605
534	460	泉南市	48.71	515	341	636	316	482
539	533	大東市	48.67	645	42	571	290	707
556	565	和泉市	48.53	629	432	373	302	556
591	613	貝塚市	48.20	418	521	413	327	596
667	663	門真市	47.22	650	42	505	342	774
672	675	高槻市	47.17	718	635	324	184	635
717	711	岸和田市	46.11	691	609	409	382	590
744	743	泉大津市	45.31	745	617	495	239	700
770	776	阪南市	44.03	779	758	615	484	291

都市データパック2015（東洋経済新報社）より

▼5つの観点と算出指標（全国790市と東京23区が対象）

■［安心度］　○病院・一般診療所病床数（人口当たり）　○介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数（65歳以上人口当たり）　○出生数（15～49歳女性人口当たり）○保育所定員数・待機児童数

■［利便度］　○小売業年間商品販売額（人口当たり）　○大型小売店店舗面積（人口当たり）

■［快適度］　○公共下水道・合併浄化槽普及率　○都市公園面積（人口当たり）　○転入・転出人口比率　○新設住宅着工戸数（世帯当たり）

■［富裕度］　○財政力指数　○地方税収入額（人口当たり）　○課税対象所得額（納税者1人当たり）

■［住居水準充実度］　○住宅延べ床面積（世帯当たり）　○持ち家世帯比率」

▼評価方法　15指標それぞれについて平均値を50とする偏差値を算出し、その平均を総合評価とした。同様に、安心度、利便度、快適度、富裕度、住居水準充実度は、当該指標の偏差値を平均したもの。

住みよさランキングの最新版が東洋経済新聞社から出ていましたので、調べてみました。全国のベスト10は砺波市（富山県）を除いて変わっていません。大阪府内も1位箕面市、2位大阪狭山市、3位吹田市、4位摂津市は同じで、和泉市は27位と変化なしでした。和泉市がこのように府内で低位であることに違和感をお感じと思いますが、これは統計上の問題で、生活圏の広域化に対応するため、他市の「20%通勤圏」となっている市については、偏差値を算出する際に補正を実施しています。具体的には、20%通勤圏にある自治体は利便度に近隣の大阪市の数値が採用されています。和泉市は20%通勤圏から外れ大阪市の利便度から和泉市の利便度となり、利便度の順位が432位と大幅に低くなった事が原因です。仮にこの影響を除けば、和泉市は府内でほぼ真ん中ぐらいとなりますので、若干割り引いてみる必要があります。

３年間の順位を表したのが下表ですが、利便度は別にしてもいずれの項目も順位を下げています。全体として住み良さは低下していると言えます。

	順位 全国	順位 府内	総合評価 偏差値	安心度	利便度	快適度	富裕度	住居水準
今年	556	27	48.53	629	432	373	302	556
昨年	565	27	48.39	609	557	270	291	529
一昨年	491	26	49.03	536	603	97	298	529

		印西市	和泉市
基本情報	面積（Km²）	123.80	84.98
	人口	88,176	184,988
	平均年齢	41.9	42.3
	老齢人口比率（%）	16.1	18.7
	生産年齢人口増減率（%）	7.0	▲ 2.6
保育	認可保育所月間保育料（円）	35,600	47,000
	同上定員（人）	1,439	3,080
	待機児童数（人）	23	29
福祉	特別養護老人ホーム定員	460	400
	高齢者向けグループホーム	99	72
	生活保護実人数	299	4,391
公共料金	水道料金（1ヶ月）（円）	4,665	3,240
	下水道料金（1ヶ月）（円）	2,656	2,721
	介護保険料（円）	4,200	5,092
財政力	一人当たり税収額（万円）	17.7	11.8
	一人当たり歳出額（万円）	35.3	32.9
	経常収支比率（%）	88.1	95.4
	実質収支比率（%）	10.7	0.3
	実質公債比率（%）	9.2	5.1
	将来負担比率（%）	6.9	20.7
	財政力指数	0.94	0.68
	自主財源比率（%）	69.3	44.5
	交付税依存度（%）	9.1	14.2
	一人当たり地方債残高（万円）	22.7	28.8
生活基盤	完全失業率（%）	4.7	7.6
	納税者一人当たり所得（万円）	364.1	321.9
	持家世帯比率（%）	83.1	70.6
	一万人当たり病院・診療所数	5.8	6.9
	一万人当たり医師数	26.2	27.1
	介護老人施設定員数	465	840
	公共下水道普及率（%）	80.9	84.5
	一万人当たり交通事故発生数	37.4	52.3

全国でトップの印西市と比較したのが左表です。これを見ますと多くの課題が浮かび上がります。

●新しい街と成熟にさしかかった街
印西市は最近合併した新しい街で、今まさに伸び盛りのニュータウンを抱え、生産年齢人口の増加率が7%と高く（和泉市は-2.6%）和泉市は“トリヴェール和泉”の開発が一段落し、街の成熟度が大きく異なります。

●保育や福祉の面で大きな差
印西市は保育料は安く、老人ホーム等も人口の割には多く、生活保護所帯は和泉市の1/15と少なく、介護保険料も1000円程度差があります。

●財政力に大きな差
このような福祉等の差は、財政力の差から来ています。一人当たり税収額、経常収支比率、財政力指数などほぼ全ての財政に関する指標で和泉市は劣っています。街の成り立ちに差があるとはいえ、財政規律に格段の配慮が必要と思います。

●生活基盤でも大きな差
左表にありますように、病院・診療所数を除いて殆ど全ての指標で和泉市は劣っています。関連があるか定かではありませんが、人口1万人当たりの交通事故発生数にも差が現れています。